１　学　　年　　小学６年生
２　テ ー マ　　水の中の生きもの
３　時　　期　　夏
４　所要時間　　前半４５分・後半４５分
５　人　　数　　３０人程度
６　活動場所　　博物館野外・スタディルームなど
７　準　　備　　けんび鏡、スライドガラス、カバーガラス、ビーカー（池の水）、スポイト、すくいあみ
８　展 開 例

学習活動及び内容	指導・援助の留意点
１　本時の学習内容を把握する。 池などの水中にはどんな生物がいるのか、けんび鏡を使って観察しよう。	・前時の内容の確認をする。（担任）
２　既習事項（けんび鏡の使い方）を復習する。	
３　観察の準備をする。 （１）観察に使うものを準備＆確認する。 ※自分達で池などの水をすくいに行く。	※必要な物が必要な個数があるか確認する。（担任・博物館職員） ※事前に採水場所の環境を確認し、児童の活動の安全に配慮する。（担任・博物館職員）
（２）けんび鏡の使い方やプレパラートの準備を確認する。 ・操作の仕方を確認する。 ・レンズやカバーガラスが割れないように注意する。	※顕微鏡、プレパラートの確認をする。（担任・博物館職員）
（３）観察を始める。 ・観察した生物をスケッチする。 ・教科書の写真から小さな生物の名前も確認する。	※ワークシートに見つけた微生物のスケッチを描かせる。（担任・博物館職員） ※生物の名前がわからないなどの際は、教科書や図鑑等で児童と確認しながら学習活動を支援する。（担任・博物館職員）
５ まとめをする。（５分）	・ワークシートにまとめを書かせる。（担任）